

## 令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	<b>静岡県立富士特別支援学校 P T A</b>	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	369名

### 1. 使用状況

寄贈物品名	<b>オミ・ビスタ(映像装置)</b>
使用学年及び人数	全児童生徒（小学部1年から高等部3年まで）
使用頻度	週に1回程度
使用状況	床や大きなテーブルなどに映像を映し、児童生徒が気付いて自分から手を動かし取り組んでいる。自立活動や特別活動の時間で利用することが多い。
物品の使用による変化や効果	自分が触れることで、映像が変化し音も出るので、変化に気付きやすく、興味を持つ児童生徒が多い。部屋を暗くして、床に大きく映すことで、いつもと違う特別な授業のような感じが出るので、楽しみにしている児童生徒が多い。
今後の活用の見通しや課題	映像が変化するので、興味を持つ児童生徒は多いが、お楽しみの様子で使うことが多い。うまく児童生徒の動きを引き出す等、授業にもっと有効的に使うことができれば、使用頻度も増えるかもしれない。
その他希望や所感など	映像が変化し、興味を持つ児童生徒が沢山いるが、利用場面に限定される。音階のあるピアノや打楽器などが充実してくると音楽の場面で使える、季節の変化や花などがあれば、生活の場面で使えると感じた。

## 2. 活用の様子

車いすに座ったまま活動できるよう、机に白布をかけて活動しています。



ポッチャのコートが映像なので、ボールがねらったところへスムーズに進んでいきます。

